

名蔵保護水面管理事業

金城清昭・中村博幸・仲本光男

1. 目的

海草藻場は多くの有用水産動物の成育場であり、沿岸水産資源を維持する上で極めて重要な水域と考えられている。

沖縄県では昭和50年に農林水産大臣の指定により名蔵湾の一部に藻場保護水面を設定し、以来この保護水面の管理と、海草の生態、海草藻場に生息する動植物の生態、藻場を成育場とする稚魚の親の生態、さらに環境調査などを行ってきた。

海草藻場に出現する稚魚については、過去にインフエフキやアイゴ類など特定の魚種の生態を調査したことがあるが、それ以外の稚魚についてはほとんど調査されていない。

昨年度に引き続き、海草藻場の成育場としての機能を明らかにするために、海草藻場および海草藻場内側の碎波帯の稚魚群集の組成と季節的な出現状況を調べた。

2. 方法

海草藻場の稚魚調査は、トランセクトライン上の潜水観察および海草藻場内での曳網採集¹⁾によって行った。海草藻場内側の碎波帯の稚魚調査は、サギャップ²⁾と海草藻場採集と同様の曳網を用いて行った。

1) 潜水調査

潜水調査は、保護水面内に200mの2本(図1中の1、2)と名蔵川河口に800mの2本(図1中の3、4)の計4本のトランセクトラインを調査定線として、1996年4月～1997年3月に毎月1回行った。トランセクトライン1、2では10月の、トランセクトライン3、4では9月の調査が荒天のために行えなかった。

それぞれのトランセクトラインは岸と垂直に沖に向けて設けた。定線の長さは、それぞれの場所の海草藻場の沖側の端を越えて砂礫地帯になる所までとしたが、ライン3は海草藻場の幅が広いために、藻場の沖側の端の手前約50mまでであった。調査は、

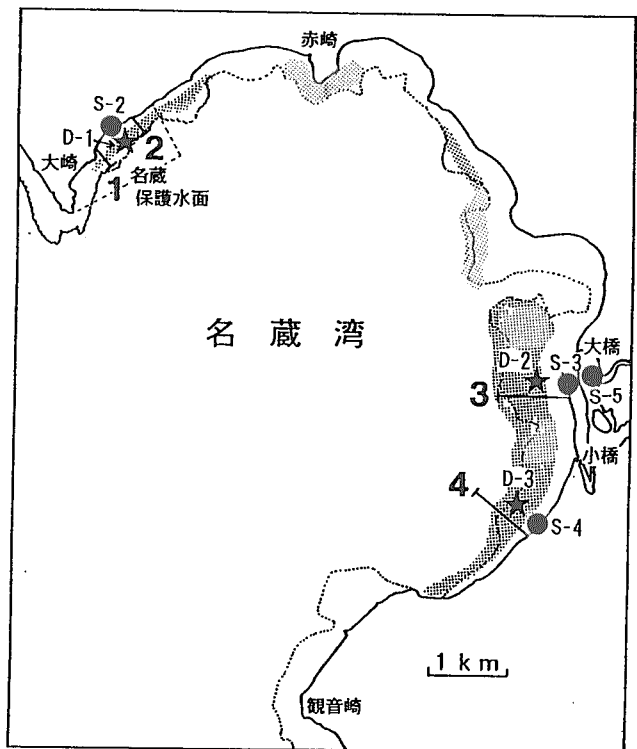


図1. 潜水調査のトランセクトライン(1～4)と採集場所(D-1～3、S-2～5)網掛は海草●場を示す

満潮前後にトランセクトライン上をSCUBA潜水しながら両側に目視されるフエフキダイ類、シロクラベラおよびクサビベラの稚魚を10mごとに計数して記録した。定線の両側の観察幅は海水の透視度の良否によって異なったが、おおむねトランセクトラインの左右それぞれ2～4mの幅であった。

2) 海草藻場での曳網採集

曳網採集は、1996年4月～1997年3月に毎月1回行った(図1)。D-1～3の3ヶ所の海草藻場で1ヶ所につき3回曳網して1回の採集とした。

得られた標本は、10～20%海水ホルマリン溶液で現場で直ちに固定した。採集後できるだけ早めに関類・同定し、後日計数・測定した。

3) 碎波帯での採集

碎波帯の稚魚調査は、海草藻場の採集の度に毎月1回、S-2～5の4ヶ所で行った(図1)。

ギャップ採集は、50mを1曳網とし、それぞれの場所で海岸線に沿って2回曳網して1回の採集とし

た。碎波帯曳網採集も同様に100m曳網して1回の採集とした。

得られた標本は、海草藻場での曳網採集と同様に処理した。

3. 結果

1) 潜水調査

各トランセクトライン上で目視されたフエフキダイ類、シロクラベラおよびクサビベラの稚魚の総個体数を表1～4に示した。

表1 潜水観察ライン-1(名蔵保護水面東定線:200m)で観察されたフエフキダイ類およびクサビベラの幼魚の個体数

	1996年										1997年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月*	11月	12月	1月	2月	3月		
ハマフエフキ	0	0	0	3	1	0	-	0	0	0	0	0	4	
イトフエフキ	0	0	0	5	12	7	-	4	8	8	1	2	47	
ハナフエフキ	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	1	
マトフエフキ	0	0	0	0	2	11	-	2	4	4	0	0	23	
タシマフエフキ	0	0	0	0	4	0	-	0	0	0	0	0	4	
フエフキダイsp.	0	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	0	2	
クサビベラ	0	0	0	0	5	5	-	0	0	1	0	0	11	

*10月は調査を行わなかった。

表2 潜水観察ライン-2(名蔵保護水面西定線:200m)で観察されたフエフキダイ類およびクサビベラの幼魚の個体数

	1996年										1997年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月*	11月	12月	1月	2月	3月		
ハマフエフキ	0	0	0	1	5	4	-	0	0	0	0	0	10	
イトフエフキ	0	0	0	0	0	0	-	0	2	0	0	0	2	
イトフエフキ	0	0	0	3	12	12	-	0	0	4	3	0	34	
ハナフエフキ	0	0	0	0	0	0	-	1	2	0	0	0	3	
マトフエフキ	0	0	0	0	1	15	-	1	1	3	0	1	22	
タシマフエフキ	0	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	0	2	
キツネフエフキ	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	1	
フエフキダイsp.	0	0	0	0	0	2	-	0	0	0	0	0	2	
クサビベラ	0	0	0	0	0	3	-	0	0	0	0	0	3	

*10月は調査を行わなかった。

表3 潜水観察ライン-3(名蔵小橋北定線:800m)で観察されたフエフキダイ類、シロクラベラおよびクサビベラの幼魚の個体数

	1996年										1997年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月*	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ハマフエフキ	0	0	11	5	21	-	18	3	1	0	40	5	104	
イトフエフキ	0	0	3	4	0	-	0	0	0	0	0	0	7	
イトフエフキ	0	0	4	10	12	-	15	0	0	0	0	1	42	
ハナフエフキ	0	0	1	0	2	-	6	0	1	0	0	0	10	
マトフエフキ	0	0	1	1	3	-	16	7	2	4	2	0	36	
タシマフエフキ	0	0	0	1	0	-	2	0	0	1	2	2	8	
フエフキダイsp.	0	0	1	0	0	-	0	0	5	0	0	0	6	
クサビベラ	0	1	3	14	20	-	18	13	17	11	2	1	100	
シロクラベラ	0	0	7	7	4	-	1	0	0	0	0	0	19	

*9月は調査を行わなかった。

表4 潜水観察ライン-4(名蔵小橋南定線:800m)で観察されたフエフキダイ類、シロクラベラおよびクサビベラの幼魚の個体数

	1996年										1997年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月*	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ハマフエフキ	0	0	37	19	25	-	15	8	7	8	1	6	126	
イトフエフキ	0	0	6	16	1	-	0	0	0	0	0	0	23	
イトフエフキ	0	0	0	13	14	-	3	0	4	3	1	0	38	
ハナフエフキ	0	0	0	2	0	-	0	0	0	0	0	0	2	
マトフエフキ	0	0	2	1	6	-	11	3	4	5	0	1	33	
タシマフエフキ	0	0	0	6	1	-	3	1	1	1	0	2	15	
ムネガサガサ	0	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	1	
クサビベラ	0	0	1	10	7	-	1	5	1	4	1	1	31	
シロクラベラ	0	0	0	0	0	-	0	2	0	3	2	2	9	

*9月は調査を行わなかった。

トランセクトライン-1、2では、イソフエフキが多く目視され、マトフエフキがこれに次ぎ、他の種類はわずかであった。トランセクトライン-3ではハマフエフキ、イソフエフキ、マトフエフキの順で、トランセクトライン-4ではハマフエフキが最も多く、イソフエフキ、マトフエフキ、イトフエフキの順で目視された。

シロクラベラは、トランセクトライン-3で6～10月に19個体、トランセクトライン-4で11～3月に9個体が目視されたが、トランセクトライン-1及び2では目視されなかった。

クサビベラは、トランセクトライン-3で最も多く目視された。

2) 曳網採集

名蔵保護水面内の海草藻場での曳網採集では、計36曳網で29科97種以上の魚類が得られた(表5-1～4)。

名蔵川河口域の名蔵小橋北の海草藻場での曳網採集では、計36曳網で35科95種以上の魚類が得られた(表5-1～4)。

名蔵川河口域の名蔵小橋南の海草藻場での曳網採集では、計36曳網で32科97種以上の魚類が得られた(表5-1～4)。

3) 碎波帯での採集

サギャップ採集では、名蔵アンパルで13科18種、名蔵小橋北で15科22種、名蔵小橋南で11科13種、保護水面内で19科29種の魚類が得られた(表6)。

碎波帯の曳網採集では、名蔵アンパルで13科20種、名蔵小橋北で18科27種、名蔵小橋南で20科32種、保護水面内で24科39種の魚類が得られた(表7-1、2)。

4. 要約

・海草藻場の稚魚群集の調査を、トランセクトライン上の潜水観察、海草藻場での曳網採集、碎波帯でのサギャップおよび曳網採集によって行った。

・イソフエフキは保護水面内で、ハマフエフキは名蔵川河口域で多かった。

・シロクラベラは名蔵川沖の海草藻場で多く目視された。

文 献

- 1) 金城清昭 (1986) : アマモ場とその周辺に着底するフエフキダイ属 (*Lethrinus*) 魚類の生態— I. ハマフエフキ *Lethrinus nebulosus* の着底と成長に伴う移動. 西海区ブロック浅海開発会議魚類分科会報, (4), 19-28.
- 2) 金城清昭・七条祐蔵 (1995) : 宮古島の碎波帯におけるミナミクロダイ稚魚の分布. 平成5年度沖縄水試事業報告書, 183-187.

表5-1 名蔵湾の曳網採集で得られた魚類と出現した月

科	名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
ニシン科	ドロウイ	5				
	ミナミキビナゴ	1,5,8,10-12	ミナミキビナゴ	1-6,10-12	ミナミキビナゴ	2,4-6,8,9
			ニシン科sp.	5		
エソ科	ウチウミマダラエソ	8,9,11	ウチウミマダラエソ	1,4,8,11	ウチウミマダラエソ	9
			ミナミアカエソ	4		
トウゴロウイワシ科	オキナワトウゴロウ	1,3,5,6,10-12	オキナワトウゴロウ	1-6,10-12	オキナワトウゴロウ	1-6,8,11,12
					キンイソシワシ属sp.	2,11
					ヤクシマイワシ	5
サヨリ科	マルサヨリ	12			マルサヨリ	4
ヤカラ科	アオヤガラ	8-11	アオヤガラ	6,8,10	アオヤガラ	8-10
ヘコアユ科	ヘコアユ	7-10,12	ヘコアユ	1-10,11	ヘコアユ	1,3,6-8,10,11
ヨウジウオ科	イシヨウジ	2-4,10	イシヨウジ	4,6,8,10,12	イシヨウジ	1,6,9-11
	オオウミウマ	3,8	トゲヨウジ	1,3,4,8,10,12	トゲヨウジ	1,3,7,10,12
	タツノイトコ	4	ホソウミヤッコ	2,12	ハクテンヨウジ	5
	トゲヨウジ	1-4,6,8-11				
	ハクテンヨウジ	8				
ハオコセ科					ツマジロオコセ	4,9
効サゴイシモチ科			効サゴイシモチ	10		
ハタ科	ハナダイsp.	5				
メキス科	メキス	5				
センニンガシ科	センニンガシ	4,5	センニンガシ	5		
テンジクダイ科	タイワンマトイシモチ	1,3,6-8,12	スジイシモチ	10	サンギルイシモチ	8
	ミヤコイシモチ	1,4-12	タイワンマトイシモチ	5,7,9-11	タイワンマトイシモチ	6
	ヤライイシモチ	5	ミヤコイシモチ	1,2,5-8,11,12	ミヤコイシモチ	1,6-11
	Apogon spp.	4	ヤライイシモチ	4	ヤライイシモチ	6
			Apogon spp.	3-5	Apogon spp.	5,6
ヒイラキ科	タイワンヒイラキ	4	タイワンヒイラキ	4		
	ヒイラキ属sp.	5				

表5-2 名蔵湾の曳網採集で得られた魚類と出現した月

科	名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
フエダイ科						
	アミメフエダイ	8-10	アミメフエダイ	7-10	アミメフエダイ	7,10
	ニセクロホシフエダイ	1,8-10	ニセクロホシフエダイ	9,10	ヒメフエダイ	6-10,12
	ヒメフエダイ	7	ヒメフエダイ	7-10		
クロサキ科						
	クロサキ	4,5,7,9	クロサキ	4,7	クロサキ	4,8
イサキ科						
	アヤコショウダイ	7				
イトヨリダイ科						
	ヒトシタマガシラ?	7	ヨコシタマガシラ	10	ヨコシタマガシラ	7-10
	ヨコシタマガシラ	7				
フエフキダイ科						
	イソフエフキ	7	イソフエフキ	5-8	アミフエフキ	2
	イトフエフキ	5-8	イトフエフキ	5-8,10,11	イソフエフキ	2,5-8,10
	キツネフエフキ	12	タテシマフエフキ	1,9,12	イトフエフキ	6,7,9-11
	タテシマフエフキ	1-3,9-12	ハナフエフキ	3,5,7-10	タテシマフエフキ	9-12
	ハナフエフキ	3,6-9	ハマフエフキ	4-8,10,11	ハナフエフキ	7,9-11
	ハマフエフキ	4-10,12	ホソフエフキ	10	ハマフエフキ	5-7,10
	マトフエフキ	1-4,7-12	マトフエフキ	5,7-12	フエフキダイ属sp.	4
					ホソフエフキ	7,10
					マトフエフキ	7,9-11
					ムネアカクチビ	6,7,9,10
ヒメジ科						
	インドヒメジ	7-10	インドヒメジ	3,6,8,9,10	インドヒメジ	1,6-12
	オオスジヒメジ	8-10,1	オオスジヒメジ	3,7-10	オオスジヒメジ	8-12
	オジサン	5,7,9,10	オジサン	8-10	オジサン	7-12
	コバンヒメジ	3,7-10	コバンヒメジ	7-10	コバンヒメジ	7,9,10
	タカサゴヒメジ	8	タカサゴヒメジ	9	ホウライヒメジ	6-8
	ホウライヒメジ	2,5,6	ホウライヒメジ	1,6,7,10	ヨメヒメジ	7
	ヨメヒメジ	7,9,10,12	ヨメヒメジ	9-11	リュウキュウヒメジ	1,6,10
ハタンボ科						
			ミナミハタンボ	4	ミナミハタンボ	3,4
			リュウキュウハタンボ	4	リュウキュウハタンボ	3,4,6
チョウチョウウオ科						
	チョウチョウウオ科sp.	9	セグロチョウチョウウオ	7	トゲチョウチョウウオ	7-9,12
	トゲチョウチョウウオ	7	トゲチョウチョウウオ	8		
			ムレハタタテダイ	9		
スズメダイ科						
	ダンダラスズメダイ	6,7,9	オジロスズメダイ	7,9	オジロスズメダイ	9
	マガネスズメダイ	7	カクレクマノミ	2,3,6,8	オヤビツチャ	7,8
	ルリスズメダイ	7	シチセンスズメダイ	6	クマノミ	1,10
	ロクセンスズメダイ	7	スズメダイ科sp.	7	ダンダラスズメダイ	7,8,10
	スズメダイ科sp.	5	ダンダラスズメダイ	6-9	マガネスズメダイ	6-8,10
			ミツホシクロスズメダイ	2	ルリスズメダイ	6-11
			マガネスズメダイ	8	ロクセンスズメダイ	7-10
			ルリスズメダイ	8,9		
			ロクセンスズメダイ	4,6-8		

表5-3 名蔵湾の曳網採集で得られた魚類と出現した月

科	名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
ヘラ科						
	Halichoeres sp.	1	Halichoeres sp.	12	Halichoeres sp.	10
	Stethojulis sp.	8	アカビヘラ	8,9	Stethojulis sp.	8
	アカテンモチノウオ	1,8-10,12	アカテンモチノウオ	7,9	アカビヘラ	4,6-9
	イラ属sp.	3	イラ属sp.	3	アカテンモチノウオ	9,10
	オオヒレテンスモドキ	7	オニヘラ	7-9	アカニジヘラ	3,9
	カマスヘラ	1,2,4,9-11	カザリキュウセン	6,8,9	イナスマヘラ	7,10
	クサビヘラ	5-10	カマスヘラ	1,3,4,6-12	オオヒレテンスモドキ	1,3,5,6,9,10,12
	クマトリキュウセン	3,7	クサビヘラ	7-10	オニヘラ	4,6-10
	シチセンムスメヘラ	7,8	クマトリキュウセン	3,8	オビテンスモドキ	8
	シロクラヘラ	4-7	シチセンムスメヘラ	3,7-10,12	カザリキュウセン	4,8,10
	ハラスジヘラ	1-4,6-12	シロクラヘラ	5,7	カノコヘラ	8
	ヘラ科sp.	7	ハラスジヘラ	1-8,11,12	カマスヘラ	1,3-12
			ヘラ科sp.	9	クサビヘラ	5,7,8
					クマトリキュウセン	3,6,9
					シチセンムスメヘラ	2,8,9
					ハラスジヘラ	1-8,10-12
					ホホワキュウセン	4
					ミツボシキュウセン	7
ブダイ科						
	タイワンブダイ	4-8,11	タイワンブダイ	3-10	タイワンブダイ	1-10,12
	ミゾレブダイ	6,7,10	ミゾレブダイ	3,5-7,9,10	ミゾレブダイ	6,8,10
	Scarus spp.	6-10	Scarus spp.	5-10	Scarus spp.	2,7-11
	ブダイ科sp.	9	ブダイ科sp.	4	ブダイ科sp.	1
トラキス科						
	ダンダラトラキス	6-9	ダンダラトラキス	7,8,10	ダンダラトラキス	7
ヘビキンボ科						
	クサキンボ	1-10	クサキンボ	1,2,4-8	クサキンボ	1,3-7,9,11,12
イソキンボ科						
	イヌキンボ	2,7,9,10	イヌキンボ	4,10	イヌキンボ	1,2,7-10
	ハタタテキンボ	1-4,6-10,12	ハタタテキンボ	2,4-11	クロスジキンボ	10
	ヒゲニジキンボ	7	ヒゲニジキンボ	6	シマキンボ	7
					ハタタテキンボ	3,4,7-10
					ヒゲニジキンボ	7
					ヤエヤマキンボ	7
シラスウオ科						
	シラスウオ	1	シラスウオ	1,11,12	シラスウオ	1-3,5,6,9-12
ネスツボ科						
	ハナビヌメリ	6-10	タンザクテグリ	4	タンザクテグリ	1,3-5,7-10
			ハナビヌメリ	4,6-8	イソハゼ	5,10
ハゼ科						
	ウミシヨウブハゼ	1-12	ウミシヨウブハゼ	1,2,4-11	ウミシヨウブハゼ	1-3,5,12
	サザナミハゼ	7	サラサハゼ	7-10	サザナミハゼ	7
	サラサハゼ	6-10	ホシハゼ	4,7	サラサハゼ	7-10
	ヒメカザリハゼ?	8	ハゼ科spp.	3-7,11	ナンヨウミドリハゼ	4
	カザリハゼ属sp.	6			ハゼ科spp.	4-6,8
	ホシハゼ	6-8,10				
	ハゼ科spp.	2,3,5,6,9,10				

表5-4 名蔵湾の曳網採集で得られた魚類と出現した月

科	名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
アイコ科						
	アマアイコ	7	アマアイコ	7	アマアイコ	8,9
	ゴマアイコ	7	シモリアアイコ	1,6-10,12	シモリアアイコ	7,9,10
	シモリアアイコ	6-10,1	ハナアイコ	7,8	ヒメアイコ	7,9,10
	ハナアイコ	7	ヒメアイコ	7-10	フチアイコ	10
	ヒメアイコ	7-10	フチアイコ	7,9,10		
	フチアイコ	7				
ニサダイ科						
	クロハキ	7	オスジクロハキ	9,10	オスジクロハキ	8,9
	Acanthurus sp.	6	クロハキ	8,11	テングハキ	7,9
			テングハキ	9,10		
カマス科						
	タイワンカマス	9,10	カマスsp.	3	オニカマス	7
			タイワンカマス	4-6,10		
ダルマガレイ科						
	トゲダルマ	2	ミナミウシノシタ	11	トゲダルマ	7
モンガラカワハキ科						
					ムラサメモンガラ	7
カワハキ科						
	フチリカワハキ	1-12	フチリカワハキ	6-10	フチリカワハキ	7
					ハナツノハキ	6
ハコフグ科						
	コンコウフグ	4	コンコウフグ	5		
フグ科						
	オキナワフグ	1	オキナワフグ	1		
	カスミフグ	11	サザナミフグ	2,3,6,7		
	サザナミフグ	2,7				
	スジモヨウフグ	1,4,5,10,12				
ハリセンボン科						
			ハリセンボン	1		
			不明	9		
計	35科95種		32科97種		29科97種	

表6 ザギャップ採集で得られた魚類と出現した月

	名蔵アソナル		名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
イセゴイ科			イセゴイ	10				
ニシン科	トロウイ	2.5.12	トロウイ	2.4	トロウイ	2.4.5.12	トロウイ	2
	ミナミキビナゴ	7	ミナミキビナゴ	2.4.5	ミナミキビナゴ	1-12	ミナミキビナゴ	1.2.4-12
カタチイワシ科			ミスルル	4				
サハヒー科	サハヒー	7			サハヒー	8		
トウコウロウイワシ科	オキナワトウコウロウ	8	オキナワトウコウロウ	4	ヤクシマイワシ	2.5.9	オキナワトウコウロウ	1.4
	ヤクシマイワシ	5.7.11.12	ヤクシマイワシ	5.9.10			ヤクシマイワシ	6
サヨリ科	コモチサヨリ	6-8.10	コモチサヨリ	7-10			コモチサヨリ	8.9
							ホシサヨリ	7
トビウオ科							トビウオ科sp.	4
							ハシヨウトビウオ	4
ダツ科							オキサヨリ	4.6-8
ヘコアユ科							ヘコアユ	9
ヨウジウオ科			ハクテンヨウジ	5	タツノオトシゴ属sp.	1	オオウミウマ	8
			ヨウジウオ科sp.	1				
タカサゴイシモチ科	タカサゴイシモチ	5	タカサゴイシモチ	4.10			タカサゴイシモチ	5.6
シマイサキ科	コヒキ	8	コヒキ	7				
テンジクダイ科							Apogon spp.	4.5
アジ科					ミナミイカツオ	5	ブリ属sp.	4
クロサキ科	セツハリサキ	2	クロサキ	1.2.8.9.11.12	クロサキ	5.7.9-11	クロサキ	8.11
タイ科	ミナミクロダイ	2	ミナミクロダイ	2				
スタレダイ科			ヒメツバメウオ	8	ナンヨウツバメウオ	10		
ハタンホ科							リュウキュウハタンホ	5
メジナ科							オキナメジナ	2
スズメダイ科							ロクセンズメダイ	7
							スズメダイ科sp.	4
ホラ科	コホラ	2-4	オニホラ	7.9	コホラ	1-3	オニホラ	8
	タイワンメナダ	4	コホラ	1-4			コホラ	1.2.4
			タイワンメナダ	4			ワニグチホラ	6
			ホラ	1.10				
ペラ科	クサビペラ	7						
イソキンボ科					ハタタテキンボ	9	イソキンボ	4.7
							ハタタテキンボ	4.7.8
							イソキンボ科sp.	2
シラスウオ科	シラスウオ	11					シラスウオ	1.5
ハセ科	ヒメハセ	12	ハセ科spp.	5.7-10	ヒメハセ属sp.	6	ミスハセsp.	2
	イソハセ属sp.	3			ハセ科spp.	7-10	ハセ科spp.	7.8.11
	ハセ科spp.	3.5-9.11						
カマス科	オニカマス	7.8	オニカマス	3-5.7.8	オニカマス	6	オニカマス	7
フグ科			オキナワフグ	11				
			モヨウフグ属sp.	10				
計	13科18種	18	15科22種	22	11科13種	13	19科29種	29

表7 碎波帯の曳網採集で得られた魚類と出現した月

	名蔵アンハル		名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面No.2	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
カライワシ科			カライワシ	9				
イセゴイ科			イセゴイ	9				
ソトイワシ科	ソトイワシ	5						
ニシン科	ドロクイ	6	ドロクイ	1,2,4	ドロクイ	2,12	ミナミキビナゴ	1-5,7-12
カタクチイワシ科	ミナミキビナゴ	5,8	ミナミキビナゴ	2-6,9,11,12	ミナミキビナゴ	1-3,5-8,10-12		
サハヒー科			オオイワシ	4	オオイワシ	1	オオイワシ	10
エソ科	サハヒー	7	サハヒー	10	サハヒー	8		
トウゴロウイワシ科					ウチウミマダラエソ	3	ウチウミマダラエソ	5
	ヤクシマイワシ	2-4,6,9,11,12	オキナワトウゴロウ ヤクシマイワシ	4,5 3-6,9,11,12	オキナワトウゴロウ ヤクシマイワシ	5,6 1,5,6,11,12	オキナワトウゴロウ ヤクシマイワシ ギンイソイワシ属sp.	1-3,6,12 3,6,8,10 1,12
サヨリ科	コモチサヨリ	7	マルサヨリ	10			コモチサヨリ ホシサヨリ	10 4
ダツ科							オキサヨリ	6,7
ヘコアユ科							ヘコアユ	9
ヨウジウオ科					イシヨウジ	11		
タカサゴイシモチ科							タカサゴイシモチ	4
ハタ科			ハウテンハタ	9				
テンジクダイ科							スジイシモチ	2
フエダイ科	ニセクロホシフエダイ	9	イッテンフエダイ ニセクロホシフエダイ	8 9-11	イッテンフエダイ ニセクロホシフエダイ	8,9,11 8	ニセクロホシフエダイ	7
クロサキ科	クロサキ セツハリサキ	2,5,7,10-12 4,8-12	クロサキ セツハリサキ	1-5,7,8,10-12 8,10	クロサキ セツハリサキ	2-4,6-8,11,12 8	クロサキ クロサキsp.	11 5
イサキ科			クロコショウダイ	11			コショウダイ	4
タイ科	ミナミクロダイ	4						
フエフキダイ科			マトフエフキ	9	ハマフエフキ マトフエフキ	7 11	マトフエフキ	8,9,11
ヒメジ科			モンツキアカヒメジ	11	ヨメヒメジ	10	オオスシヒメジ ヨメヒメジ	11 9
ハタンボ科							ミナミハタンボ リュウキュウハタンボ	4 5
スタレダイ科			ナンヨウツバメウオ	8				
スズメダイ科					ロクセンスズメダイ	4	オヤビツチヤ シマスズメダイ ロクセンスズメダイ	9 8 4

表 7-2 碎波帯の曳網採集で得られた魚類と出現した月

	名蔵アンバル		名蔵小橋北		名蔵小橋南		保護水面No.2	
	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月	種名	出現月
ホラ科	コホラ	5	コホラ	4	コホラ メダ属sp.	4 2	コホラ タイワンメダ ホラ科sp. ワニグチホラ	7 11 10 7
ヘラ科					イナスマヘラ クサビヘラ	10 10	ハラスジヘラ	9,11
イソキンボ科					イソキンボ	1	イソキンボ センカエルウオ ハタタデキンボ	7 4 4,5,7
シラスウオ科					シラスウオ	2,12	シラスウオ	1,6
ハゼ科	ツムキハゼ ヒメハゼ ミナミヒメハゼ ヒメハゼ属sp. ハゼ科spp.	4,10-12 1-4,6,8,10-12 2 5,7 3,5-9	クモハゼ ヒメハゼ ヒメハゼ属sp. ハゼ科spp.	2-4,12 1-4,10-12 5 5-9,12	クモハゼ クモハゼ属sp. ヒメハゼ ヒメハゼ属sp. ハゼ科spp.	1 2 1-4,6,9,11,12 5,7,8 5,7,9,10	クモハゼ サザナミハゼ ハゼ科spp.	2 9 1,5-11
アイゴ科	ゴマアイゴ	8,9			シモリアイゴ	10,11		
カマス科	オニカマス	5,7-9,11	オニカマス カマス科sp.	5-9 9	オニカマス	5,7,9,10	オニカマス	4,7,8
ダルマガレイ科					トゲダルマガレイ	1,6,11		
カワハキ科							フチリカワハキ	7
フグ科	オキナワフグ ワモンフグ	4,5,7-12 9	オキナワフグ モヨウフグ属sp.	3,5,8-12 7,10	オキナワフグ モヨウフグ属sp.	1,2,4,5,11 10	オキナワフグ	6
	13科20種		18科27種		20科32種		24科39種	